

いのちを守る都市づくり

コミュニティ防災フォーラム2018

参加費無料
・
申込不要



概要

日時 **2018年2月17日(土)**
14時00分～17時00分

場所 大阪市立大学 学術情報総合センター1階 文化交流室

対象 小中高校生、大学生、防災・行政・教育・福祉関係者、
地域防災に関心のある方

人数 先着80名(申込不要)

主催: 大阪市立大学 都市防災教育研究センター

共催: コミュニティ防災協議会

後援: 大阪市 阿倍野区/住之江区/住吉区/東住吉区/平野区/西成区/堺市

協力: 大阪市消防局/大阪市立大学プロジェクトマネジメントオフィス(PMO)

支援: 国立研究開発法人 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

主旨

大阪市立大学 都市防災教育研究センター(CERD)は、都市大阪を基盤に「いのちを守る都市づくり」による災害知の社会実装を展開しています。いのちを守ることを第一義として、都市の災害リスクを精緻に評価し、適切な避難や災害対応につなげる防災リーダーを育成するとともに、防災拠点の計画・整備を通して、自助・共助による確かな防災力の向上をはかります。また、国内外の防災センター等と連携しながら、最新の災害研究、情報技術、都市科学を踏まえた新しいコミュニティ防災システムの確立を目指しています。

問い合わせ

大阪市立大学都市防災教育研究センター 事務局

URL: <http://cerd.osaka-cu.ac.jp> メール: office@cerd.osaka-cu.ac.jp

市大 CERD

検索

プログラム

開会あいさつ 大阪市立大学 学長 荒川 哲男

来賓あいさつ 大阪市阿倍野区長 寶田 啓行 氏

報告 **都市防災教育研究センター活動報告**
都市防災教育研究センター所長 森 一彦

基調講演

※同時または逐次通訳あり

『コミュニティ防災力を高める市民の取り組み
:ロサンゼルスコミュニティ防災プロジェクトの教訓』

"Engaging the Public to Build Community Disaster Resilience
: Lessons from the Los Angeles County Community Disaster Resilience Project"



カリフォルニア大学ロサンゼルス校 公衆衛生・災害センター所長

Prof. David Eisenman

プロフィール

M.D., M.S.H.S.

Director, UCLA Center for Public Health and Disasters

Professor-in-Residence, UCLA School of Medicine and

UCLA School of Public Health

報告 **阿倍野区コミュニティ防災教室**

報告 **防災士取得学生の活動(大阪市立大学 防災士クラブ)**

報告 **COCアゴラセミナーIb(CR副専攻)**

認証式 **いのちラボ認証式**

堺市立御池台小学校、堺市御池台校区連合自治会

閉会あいさつ 大阪市立大学 学長補佐 宮野 道雄

※会場前ロビーにて、ポスター展示あり